

IOT 実装関連の動向等

【回答自治体：佐賀県多久市】

事業名	「地域におけるIoTの学び推進事業」実証事業（平成30年度総務省公募事業）		
実施期間	平成30年6月29日から平成31年3月15日まで		
概要	<p>実施主体 志田林三郎 ICT クラブ協議会 （代表団体 株式会社オプティム、多久市、多久市教育委員会、NPO 法人 価値創造プラットフォーム）</p> <p>実施場所 多久市（まちづくり交流センターあいぱれっと） 佐賀市（株式会社オプティムセミナールーム）</p> <p>事業概要 ICTを活用した豊かな産業、安心安全な暮らしをつくる未来の主角を育てるベース教育として、小中学生を中心にプログラミング教室を開催。ICTの可能性を理解する気付きと、プログラミング教育やICTツールに直接に触れる体験型学習を重視し、楽しく学び合え、自然に新しい時代に対応できる人材を育成する。同時に、継続的な学習として地域に根差したものとなるようメンターの育成を行う。</p> <p>事業予算 6,274千円</p> <p>教室名 「志田田林三郎ICTクラブ プログラミング勉強会」</p> <p>実施期間（教室開催期間）平成30年8月6日から12月27日まで 計7回開催（延べ16日間、延べ59名参加）</p>	 	 <p style="text-align: center;">志田林三郎 （初代電気工学博士）</p> <p>1855年佐賀県多久市生まれ。東原庵舎で学び、工部大学校（現在の東京大学工学部）を首席で卒業し、日本初の工学博士となった。今のIT社会を実現することを予測していた。</p>
	▲プログラミング勉強会の様子		